

そよかぜ 9月園便り

令和3年9月1日（水）

西東京市立そよかぜ保育園

8月は休園・登園自粛にご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。

皆が揃い始めた8月中旬から遅ればせながらプールもスタート。

時間が遅くなると気温が高くなりすぎて熱さ指数が警戒レベルに達してしまうため、幼児クラスは1日に1クラス、または2クラスが交代で入りました。

「水を得た魚」とはよく言ったもので、子どもたちはプールに入ると目を輝かせて、とびっきりの笑顔で水しぶきを上げていました。

そして9月に入り、季節は早くも秋へと移り変わっていきます。

9月1日は「**防災の日**」。日本は、これまでも数々の大災害に見舞われてきましたが、歴史上の大きな地震災害のひとつとして記憶されているのが、1923年9月1日に起きた関東大震災です。この震災を忘れず、災害に対する備えをしっかりと行おうと、9月1日を「防災の日」として制定しました。また9月1日は、立春から数えて210日目の日で「二百二十日（にひゃくはつか）」と呼ばれる暦の日。この時期は台風が多く、災害が発生しやすいことも、防災の日を設定された理由のひとつといわれています。

そよかぜ保育園でも毎年9月1日に「引き取り訓練」を実施していますが、今年は日にちを変更して行います。内容も、緊急時に実際にどのような形でお迎えに来ていただくかを考えて、それを実践していただけのような引き取り訓練にしたいと思っています。

詳細については別途おたよりにてお知らせしますので、確認をよろしくお願い致します。

「防災の日」に限らず、毎月いろいろな想定元の「**避難訓練**」を実施しています。

地震を想定した時には、まずは室内の安全な場所に集まり待機します。その際どのクラスの子どもたちも真剣に職員の話聞いて静かに集まり、次の指示を待っています。

そのまま地震がおさまったという想定の時もありますが、引き続き火災が発生したということで園庭に避難することもあります。その時も子どもたちはおしゃべりすることもなく速やかに園庭に出てきます。やはりこれは訓練を積み重ねていることの成果だと思います。「備えあれば患いなし」。いざという時に慌てずに、しっかりと命が守れるように私たちも気を引き締めて、今後も避難訓練を実施していきたいと思えます。

9月 園行事

6日（月） 歯科衛生指導 9日（木） 布団乾燥 21日（火） お月見会 28日（火） 誕生会

クラス通信

遠出するのが難しいご時世ですが、お家で縁日ごっこをしたり、ビニールプールに入って遊んだり、スイカを食べたりと、各ご家庭で工夫しながら夏ならではの楽しみを感じて過ごされたようです。

園でもタライプールで遊びました。水を手でたたいて水しぶきを上げたり、水をつかもうとして不思議そうな顔をしたりと、水遊びを楽しむことができました。自分でタライへの出入りを上手にする子もいます。どの子も体の使い方が上手になりました。

今月は秋の自然に触れる散歩に出かけたいと思います。まだまだ砂場遊びも楽しんでいきます。



ひよこ

暑い日が続き、毎日のように水遊びを楽しみました。準備をしていると、「入りたい！」と心を躍らせる子どもたち。小さなバケツで、水を運び、一緒に準備してくれることもありました。タライプールに入ることに抵抗があった子も、慣れてくると、お風呂のように入り、水の冷たさを感じて気持ちよさそうに笑顔で遊んでいましたよ。

涼しい日には散歩に出かけ、「どこだ？」と言いながらセミの抜け殻やバッタ探しを楽しみました。経験を重ねるごとに触れるようになり、見つけた大人の周りにみんなが集まって、「ちょうだい」の嵐！

今月は、散歩に出かけ、トンボなどの秋の虫や植物に触れて季節を感じていきます。



あひる

暑さの厳しい日もあれば、雨が続いてなかなか外に出られない日もあった8月。テラスにたらいを持ってきて、その中の水に触れるだけでも冷たくて気持ちいい！コップでペットボトルに移し替えたり、赤い色水に変化させると「リンゴジュースみたいだね！」と楽しんでいましたよ。後半の晴れの日には何回かプールにも入ることができ、“水をたくさん汲んできて〜♪”と水鉄砲の歌に合わせて水の掛け合い。また、かけこのリズムでたくさん走ったり、ウサギのリズムでジャンプしてみたり...水しぶきが掛かるのも嬉しくて「もう一回！」と繰り返し遊んでいました。まだまだ暑さを感じる日もありますが、秋の自然を感じに散歩へ出掛けていきます！たんぼぼ広場へ行くことが多いのですが、いろいろな公園にも出掛けたいです！



すずめ

「プール、今日は入れるの？」「入ろう！」「ヤッター」。玄関にドーンと据え付けられたプールを眺めて「いついついつ・・・」と待ちわびていたのも、喜びも爆発！プール前のシャワー、園庭から向かう時の並んで歩く姿のとっても可愛き手、園庭で遊んでいた他のクラスから「すてき！ひばりさん」と言われ照れながらプールに入りました。

プールの中での姿は写真で部屋の前に貼りますので楽しみに待っていて下さいね。

空を見上げると、もう、秋の雲が、、、「早く散歩においでよ」と呼んで、みんなを見守っているようです。体力のついた子どもたちと散歩三昧で遊んでいきます。



ひばり



待ちに待ったプール遊びができました！昨年度はプール遊びがなかったこともあり、玄関前の大きなプールに水着で入るのを楽しみにしていたつばめ組。プールではダイナミックに水を掛け合ったり、みんなでワニになって水の中を進んだり、「洗濯機！洗濯機！」とたくさん走って流れるプールをつくってみたり・思い切り遊び、たくさんの笑い声が上がっていました。

巧技台では、一段一段高さのある階段に手を使わず上がったり、一本橋、凸凹道の設定なども繰り返し楽しんでいます。

まだまだ暑いので、水遊びや室内での遊びを思う存分楽しんでいきます！

先月の園便りにて「いろいろな遊びをし、ドッジボールも始めました！」と書きましたが、8月の1ヵ月で更に遊びがパワーアップ！！キャッチボールをたくさん行ってきたので、避けること中心だった試合が、“取ったらすぐ投げる”のフレーズを胸に、積極的なキャッチ。狙った相手に勢いよく投げるボール。日に日に激しく、大盛り上がりの試合が繰り広げられています。

縄遊びもチャレンジすることがいっぱい！その中でもすごかったのは、回る大縄の中を走り抜ける遊びです。タイミング見て前のお友達と間が開かず走って行きます。

< 15回連続 → 27回連続 → 55回連続 > と回数が伸びてくると、その後の記録はすぐに限度を超え、**233回連続！！** ちなみに大縄は大人と子どもが互いの息を合わせて回し続けているんですよ！

今月は縄編みにより、一人一人の縄が完成します。今月も新たなチャレンジがいっぱいです。



この夏のはやぶさ組の様子です。



自分で竹を切るところから始め、

完成させた『竹ぼっくり』



竹の手作り水鉄砲！！



『縄編み』で自分だけの縄跳びを編んでいます。

▼ HPにて様々な取り組みを写真と共に文章で詳しく掲載しておりますので、是非ご覧ください！

ミーミーゼミの声から、カナカナカナと夕暮れを告げる声に変わり まもなく十五夜さん
夜風が涼しくなりました。子ども達は過ぎ行く季節を満喫しながら、たっぷりと水遊び。

リズム遊び

♪ あーかい ベベきた かわいいきんぎょ おめめを さませば ごちそうするぞ
あーかい きんぎょは あぶくをひとつ ひるね うとうと ゆめから さめた ♪

歌声にあわせ 体をゆらゆら お魚になった気持ちで身体を左右にくねくね 気分は水の中
全身の力を抜き（脱力）手指も伸びていい気持ち！！大人が添えた手の温もりも合せていい気持ち！

斎藤公子先生（さくらさくらんぼ保育園創始者）が考案されたリズム遊びや、フツと口ずさむ歌の数々はいずれも子ども達が大好きなものばかりです。子どもの成長に合わせ、寝返り・這い這い・四つ這い・高這い・歩行・・・と 動きも変化していきます。単純な動きからだんだん複雑な動きに発展。

グルグル走り回るだけから、ピアノに合わせた動きに発展。 「面白いね！」「楽しいね！」と真似っこを重ねる毎日です。

自分の足で歩かせてほしい たとえ何度転んでも、どんなに遅くとも
自分の手でやらせてほしい たとえどんなにキズをつけても、どんなに下手であっても。
自分の頭で考えさせてほしい たとえどんなに間違っているとも。
その間違いが、必ずその後の育ちに役立ってくれるのだから。

どんなに小さい子どもであっても、小さければ小さいほど、見るもの、聞くもの、触れるものは最高のもので、というのが私の主張です。その感覚は脳に刷りこまれてしまうのですから。

本物ほど優れたものは在りません。本物の花や木が見られるように、本物の山や川が見られるようにしてやるべきですよ。

斎藤 公子

「子ども達は未来 第Ⅲ期 斎藤公子のリズムと歌 より」

職員のつぶやき

私の休みの楽しみは、10年続く友達と会うことです。月に一回会い、学生の頃の他愛のない話が尽きなくなります。ですが、予想もしていなかった新型コロナウイルスでなかなか会うことができず、2年近くも会っていない期間もあり何かないかと考え、このご時世だからこそ！会えないならオンラインで話す機会を作り、いざ話してみると…会っていなかったからなのか、感動してしまいました。

お互い何かあった時に電話するようになり、私の心の支えになっています。直接会いたい気持ちは今でも強いですが、いつか「こんな日もあったね！」なんて笑って話せる日が来るといいです。

そよかぜ保育園 小林優香